

龍・流連携事業報告書

事業名		市立中学2年生および市立小学校高学年対象の救急救命授業	年度	平成27年度
担当部署	龍ヶ崎市	危機管理室		
	流通経済大学	スポーツ健康科学部, ライフセービングクラブ		
実施日及び回数		6月3日 他 8回	実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校体育館 ・流経大スポーツ健康センター救命トレーナー室
人数		事業対象者：784人 大学協力者：教職員 2人 ・ 学生 64人		
実績及び成果 (事業内容)		<p>当市は、市内を日常生活圏とする小中学校の児童・生徒が、心停止事例に遭遇した際に、勇気をもって胸骨圧迫（心臓マッサージ）を行い、同時に、コンビニエンスストアや市立小中学校屋外などに設置のAEDを積極的に使用することで、救命の可能性を向上できるものと捉え、こうした「地域に根ざしたこどもたちの力」の活用と、その体制と環境の整備を目的に、「龍・流連係事業」として、同大スポーツ健康科学部の稲垣准教授、小粥准教授およびライフセービングクラブの学生より指導支援をいただき、平成27年度は、市立中学校5校の2年生および市立小学校3校の高学年に救命法を学ぶ授業を行い、計784人の児童・生徒が受講しました。</p> <p>今後も、本授業を継続的に行っていくことで、救命率の向上を図るとともに、こどもたちには、「自分も人を助けることができる」ことの自己肯定感を育むなど、人間形成のための教育的機会になるものと考えます。</p>		